

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2020年10月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第40週(9月28日～)から第44週(～11月1日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における10月の上位6疾患の合計は4週間に換算すると14.16で、9月の14.04と比べて横ばいであった。コロナ対策の活動自粛と衛生管理により4月・5月と感染症が顕著に減少し、6月-7月は自粛の緩和で感染症が増加していたが、8月は再び減少に転じ、9-10月は横ばいで推移し、日常感染症の減少が続いている。

1位は感染性胃腸炎で4週換算値は6.90(9月1位7.09)で横ばいだった。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で3.04(同2位2.25)と増加した。3位は突発性発疹で1.73(同3位1.88)と横ばい、4位はヘルパンギーナで0.98(同4位1.31)と減少した。5位は流行性角結膜炎で0.94(同5位0.87)と横ばい、6位は水痘で0.57(同8位0.44)と増加した。

### 〈新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

世界の患者数は図1左に示すように、11月9日には5,000万人を、死亡者は125万人を超え、感染拡大はさらに加速度を増した。欧州では寒冷期を迎え再び増加が目立ってきた。患者数を国別でみると、1位米国、2位インド、3位ブラジル、4位ロシア、5位フランス、6位スペイン、7位アルゼンチン、8位英国、9位コロンビア、10位メキシコとなっている。

日本の患者数を図1右に示す。自粛を緩和した7月以降は一定の加速度でもって感染拡大している。国内の死亡者は1,800人を超えた。感染者数の増加の割に、死亡者数の増加は緩やかである。

死亡率の高さは患者年齢に依存している。図2に6月10日時点(左)と11月4日時点(右)での年齢階層別の死亡率を示す。高齢ほど重症となることは明らかである。60歳以上での死亡率がわずかに低下しており、その理由は医療崩壊を回避できていることが大きい。治療技術の向上もあるかもしれない。馴化によるウイルス弱毒化と考えるのは楽観的過ぎると思われ、科学的根拠を待って慎重に判断したい。

高齢者の感染者数増加は死亡率増大に直結するので、年代層別の患者比率を監視することは重要である。図3に示すように、7月1日時点までは50歳代以上が半数弱を占めていたが、8月以降は20代、30代の感染者が増加し、高齢者の感染は抑制されている。

なお、図に表示された厚労省HPの各数値は、個々の集計方法のちがいがから数に不一致があるので、あくまで参考として参照されたい。

### 〈風疹〉

2018年からの風疹の国内流行が終息した。風疹は2018年に累積で2,941例、2019年には2,306例が報告された。2020年第42週までの報告数は92人と減少した。コロナ自粛の副産物であったろう。予防接種機会がなかった40～57歳の男性を対象に、抗体検査を前置きした上での定期接種(第5期と呼ばれ、麻しん風しん混合ワクチンが使用される)が2019年4月から実施中なので、対象者はこの機会を活用してほしい。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	40週	41週	42週	43週	44週	計	4週換算
1	感染性胃腸炎		1.72	1.71	1.71	1.76	1.73	8.63	6.90
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.70	0.78	0.75	0.79	0.78	3.80	3.04
3	突発性発疹		0.43	0.44	0.43	0.43	0.43	2.16	1.73
4	ヘルパンギーナ		0.26	0.26	0.26	0.23	0.22	1.23	0.98
5	流行性角結膜炎		0.24	0.24	0.24	0.21	0.24	1.17	0.94
6	水痘		0.12	0.12	0.14	0.15	0.18	0.71	0.57

# 県内情報

## 1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の10月の上位6疾患の合計は4週換算値が20.06で9月の14.41と比べて増加し、全国よりも多かった(表2)。増加の原因は、初夏の感染症である手足口病(9月増加後に横ばいとなった)とヘルパンギーナ(10月に流行した)の遅い流行である。しかしいずれも通年でみると流行規模として大きいものではない。

1位は手足口病で5.64(同1位5.68)と横ばいで、全国よりも多かった。2位は感染性胃腸炎で5.03(同2位4.18)と少し増加したが全国よりも少なかった。3位はヘルパンギーナで4.88(同8位0.46)と著増し、全国よりも多かった。4位は突発性発疹で1.94(同4位1.39)と増加し全国よりも多かった。5位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で1.54(同3位1.72)とわずかに減少し、全国よりも少なかった。6位は咽頭結膜熱で1.02(同5位0.81)と増加し、全国よりも多かった。

## 〈新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

高知県におけるCOVID-19の月別患者数を図4に示す。2月29日～3月8日に12人が報告され、その後19日間は報告が途絶えた。第2波は3月27日に始まり、連日新規患者が報告され4月29日までに62人が加わった。4月16日から5月14日まで本県を含む全国に緊急事態宣言が発せられた。高知県は5月14日以降に、学校、公共機関、飲食等の活動が再開され、以後は一貫して、他県と比べて人的往来に寛容な対応をとっている。7月6人、8月45人、9月以降では9月27日までに13人の患者発生があり、夏休み・お盆休みの人の往来を反映して患者が増加した。11月9日時点で計144人の患者が報告されている。リンクの追えない感染者は散発的である。年齢階層別の患者数は10歳未満が12例、10歳代が2例、20代14例、30代23例、40代31例、50代21例、60代20例、70代12例、80代7例、90代2例となっている。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	40週	41週	42週	43週	44週	4週換算
1	手 足 口 病		1.79	1.54	1.29	1.14	1.29	5.64
2	感 染 性 胃 腸 炎		1.14	1.29	1.04	1.86	0.96	5.03
3	ヘルパンギーナ		0.64	0.61	1.32	2.21	1.32	4.88
4	突 発 性 発 疹		0.86	0.32	0.32	0.39	0.54	1.94
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.21	0.54	0.36	0.32	0.50	1.54
6	咽 頭 結 膜 熱		0.39	0.21	0.18	0.25	0.25	1.02

高知県の新型コロナウイルス感染症の発生状況(10月以降)

	公表日時	年代・性別	管轄保健所	職業	備考
139例目	10月11日	40歳代・男性	中央東	会社員	
140例目	10月15日	50歳代・男性	中央東	会社員	139例目の濃厚接触者
141例目	10月25日	40歳代・女性	高知市	会社員	
142例目	10月25日	40歳代・男性	高知市	会社員	141例目の濃厚接触者
143例目	10月27日	40歳代・男性	中央東	会社員	
144例目	10月28日	30歳代・男性	高知市	会社員	143例目の濃厚接触者

図1,2020年11月9日時点でのCOVID-19(厚生労働省HPから)

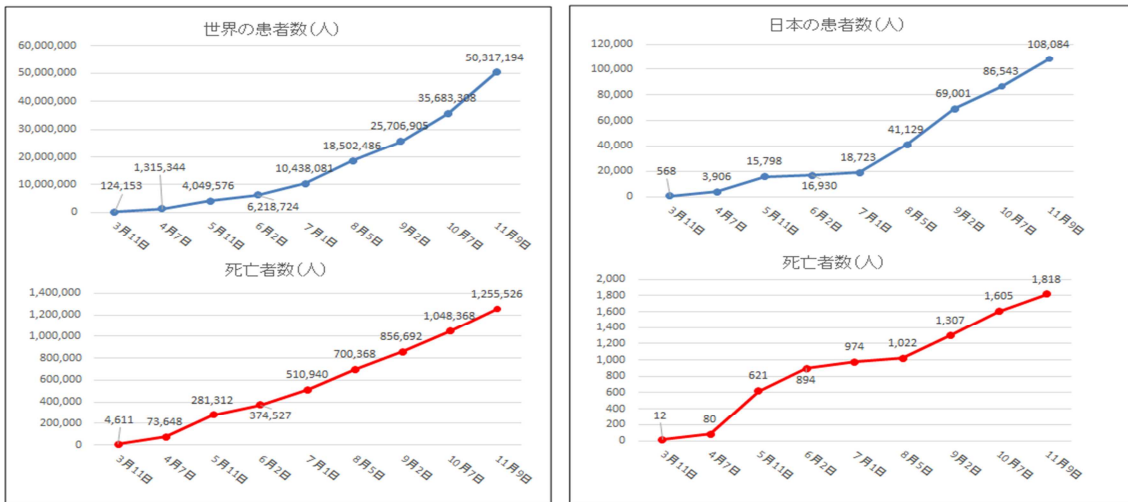


図2,年齢層別の死亡率

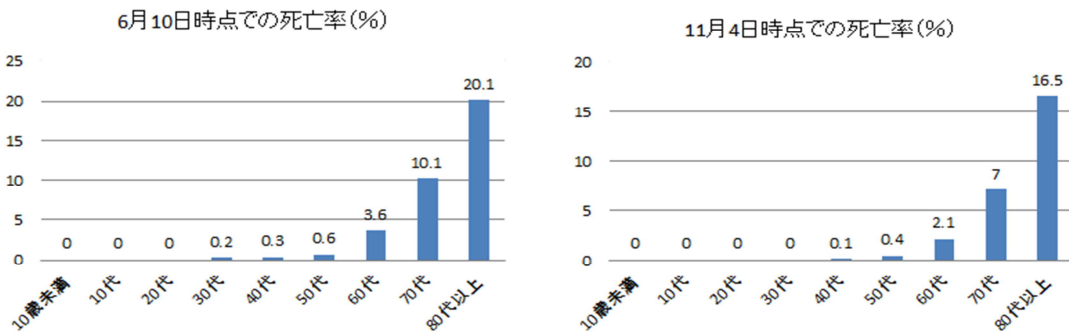


図3,日本での1ヶ月ごとの年代層別COVID-19患者比率

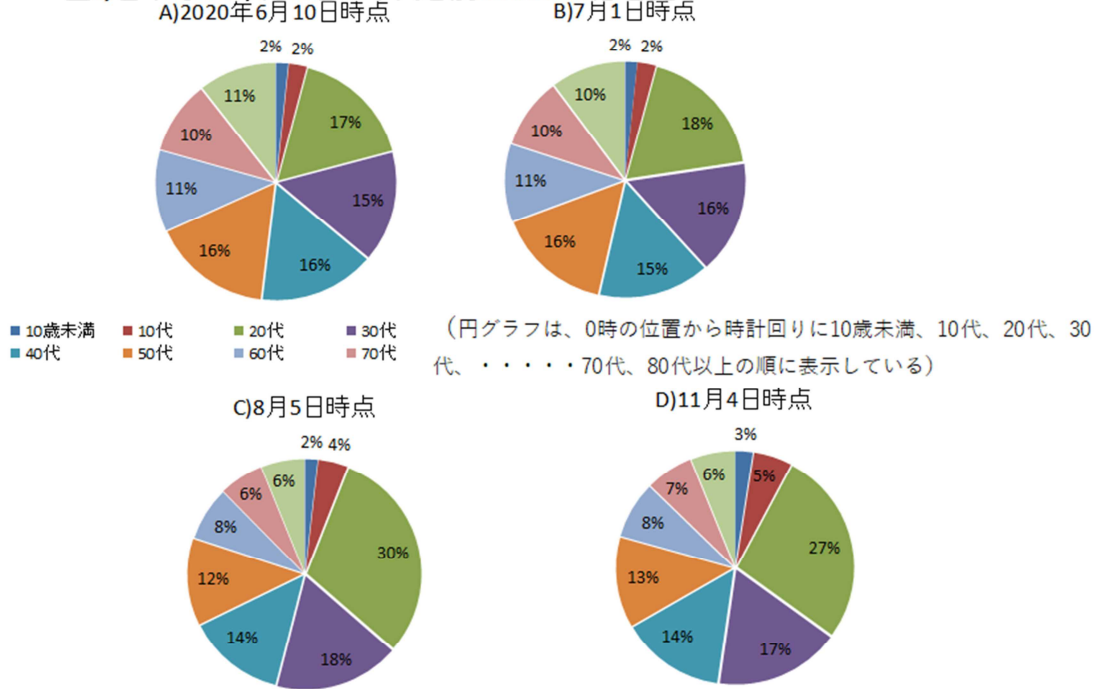
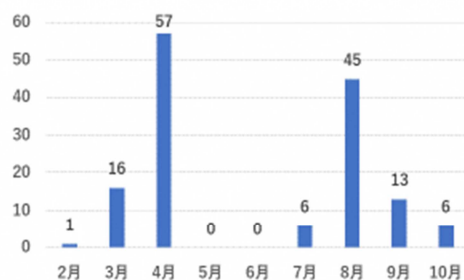


図4. 高知県のCOVID-19月別患者数(人)



## 2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

## 3. 主な疾患の発生状況

### 1) インフルエンザ

報告数 0名(9月 1名)。昨季は対コロナ自粛の影響もあってか小さな流行に終わり終息した。本年9月に成人1名が報告されたが10月は報告なく、ウイルスも検出されていない。全国で9月は計18名、10月は106名報告された。COVID-19流行との兼ね合いでインフルエンザの流行動向には例年以上に注目される場所である。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 36名(9月 23名)。10月としては平年並みの報告数であった。安芸以外から報告があり、幡多、高知市からの報告が多かった。ウイルスは検出されていない。

### 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 54名(9月 48名)。2019年9月から2020年2月にかけて多い数字で推移したが、3月以降は減少し、少ない数字で推移している。同月としては2013年に次いで少ない報告数だった。県下全域から報告され、特に須崎、高知市から報告が多かった。細菌は検出されていない。

### 4) 感染性胃腸炎

報告数 176名(9月 117名)。もともと少ない数字で推移し、2月に増加して平年並みとなっていたが、3月以降は、過去10年で最低の報告数で推移している。県下全域から報告があり、特に須崎、高知市、中央東、幡多から多く報告された。感染性胃腸炎の患者からRhinovirusが1件検出された。

### 5) 水痘

報告数 26名(9月 13名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。県下全域から報告され、高知市で特に多かった。ウイルスは検出されていない。

### 6) 手足口病

報告数 197名(9月 159名)。6月以降の報告数が波打っている。今季の流行規模は平年並みで大きくはない。県下全域から報告され、特に多かったのは高知市、安芸、中央東である。Coxsackievirus A16が流行株で、8月の検体から1件、9月は6件、10月は2件が検出された。

### 7) 伝染性紅斑

報告数 3名(9月 4名)。2019年7月以降は多い報告数で推移していたが、本年3月以降は減少の一途である。高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

### 8) 突発性発疹

報告数 68名(9月 39名)。増加したが想定内の変動で推移している。

### 9) ヘルパンギーナ

報告数 171名(9月 13名)。例年は初夏の感染症だが、遅れて流行した。幡多で突出して多く、須崎、高知市、中央東からも報告された。10月としては過去10年で最多だが、通年でみると大きな流行とはいえない。ウイルスは検出されていない。

### 10) 流行性耳下腺炎

報告数 5名(9月 7名)。年々流行規模が小さくなっているようで、任意の予防接種が浸透してきているためかもしれない。高知市、中央西、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

### 11) RSウイルス感染症

報告数 1名(9月 1名)。2020年は3月以降減少し少数にとどまっている。過去3年続けて流行開始が早く、8月の報告数は2017年以降、270名、126名、233名と多い数字で推移し、従来に比べて流行時期が1カ月程度早まる傾向が続いた。今年ではコロナ自粛の効果もあって、7月8月とゼロであったが、9月に幡多から1例、10月に高知市から1例のみ報告された。しかし、一般に流行開始時期としてとらえられている秋季としては過去10年

間で最小である。ウイルスは検出されていない。

12) 流行性角結膜炎  
報告数 0名 (9月 1名)。

13) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)  
報告数 0名 (9月 0名)。1年に10名前後の報告で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名と減少傾向である。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因とする小児例の報告は皆無であり、成人例も近年減少している。

14) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)  
報告数 0名 (9月 0名)。年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年は1名と報告が少ない。

15) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)  
報告数 6名 (9月 5名)。高知市から6名が報告された。衛環研では細菌は確認されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症  
報告数 23名 (9月 27名)。平年並の推移である。幡多、高知市から表記の順に多く検出された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症  
報告数 0名 (9月 0名)。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例、2019年は2例の報告があり、2020年は0例である。

高知県感染症発生動向調査部会  
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患 (令和2年10月)

類型	病名	報告月										総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
2	結核	5	5	8	3	6	9	3	7	2	8	56
3	腸管出血性大腸菌感染症									1		1
4	E型肝炎								1			1
	重症熱性血小板減少症候群			1	1	1				1	1	5
	日本紅斑熱				5	6	3	4	3		2	23
	レジオネラ症	1					1	2	3			7
5	ウイルス性肝炎						1		1			2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		2		1			2	1	2	9
	急性脳炎		1									1
	クロイツフェルト・ヤコブ病							1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1										1
	後天性免疫不全症候群	2				1			1	1		5
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1						1
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	1	2			1		1		1	11
	水痘(入院例に限る)	1				1		1				3
	梅毒	1		3	3	3			3	5	7	25
	破傷風		1			1					1	3
	百日咳	9	8	7	4	1	1	1	1		1	33
	指定感染症	新型コロナウイルス感染症			12	36	26		2			
	総計	26	16	35	52	48	16	14	23	11	23	264

# 高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

2020年

10月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ									1	47
小児科	咽頭結膜熱		2	17	3	2	12	36	23	92	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	8	29	1	8	7	54	48	261	
	感染性胃腸炎	7	42	72	8	20	27	176	117	257	
	水痘	1	6	13	2	1	3	26	13	43	
	手足口病	16	53	101	5	3	19	197	159	140	
	伝染性紅斑			3				3	4	128	
	突発性発疹	3	9	38	3	10	5	68	39	39	
	ヘルパンギーナ		2	20		5	144	171	13	69	
	流行性耳下腺炎		1	3	1			5	7	5	
	RSウイルス感染症			1				1	1	213	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎								1	5	
STD	性器クラミジア感染症			4				4	2	2	
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ			1			1	2			
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎									1	
	マイコプラズマ肺炎			6				6	5	16	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)									1	
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			17			6	23	27	23	
	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症										
薬剤耐性緑膿菌 感染症											
計		28	123	325	23	49	224	772	460	1,342	
前月		17	65	201	46	81	50				
前年同月		45	244	621	126	84	222				
小児科定点数		2	7	9	3	2	5				

## 高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

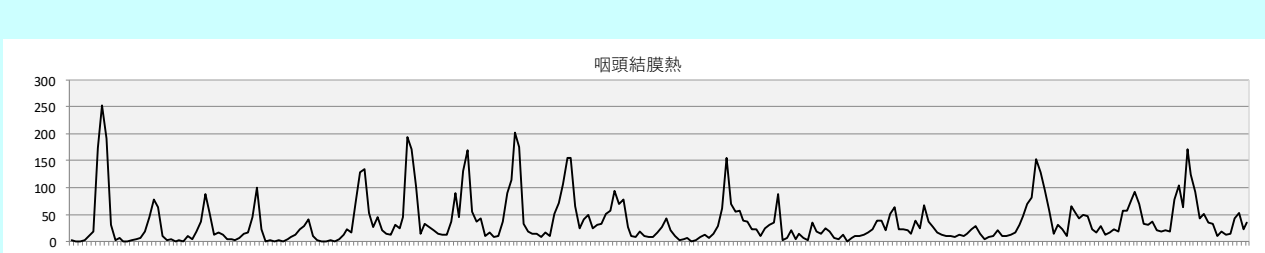
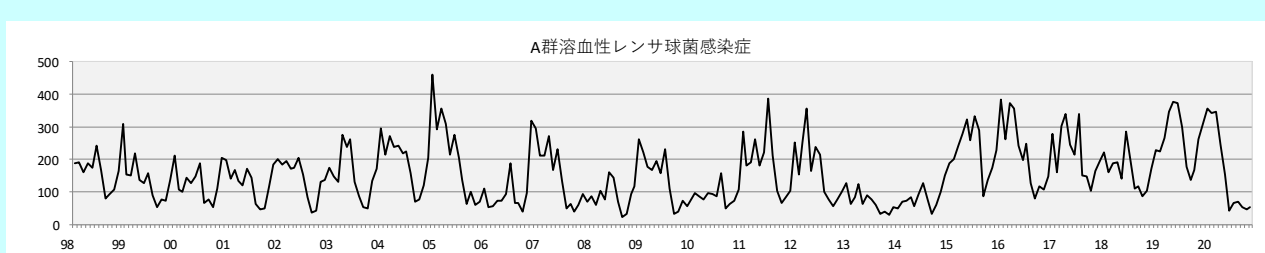
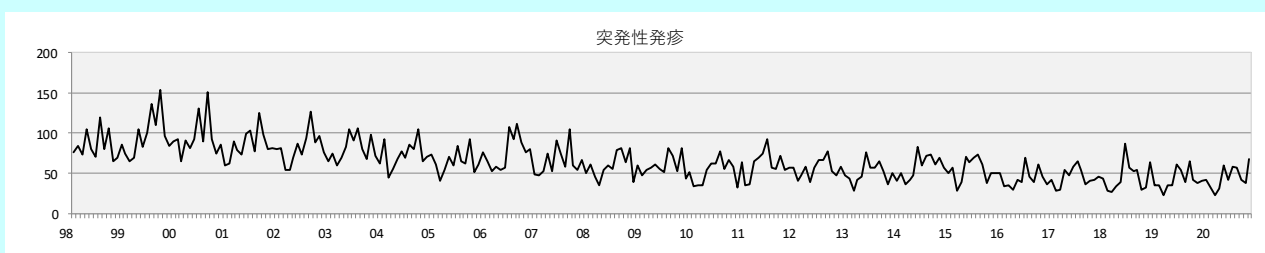
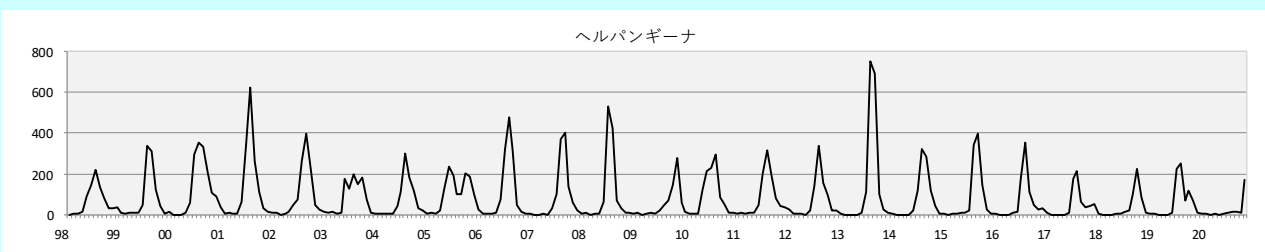
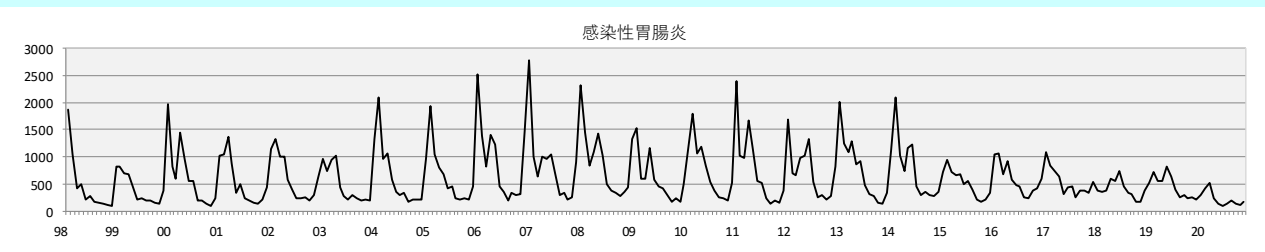
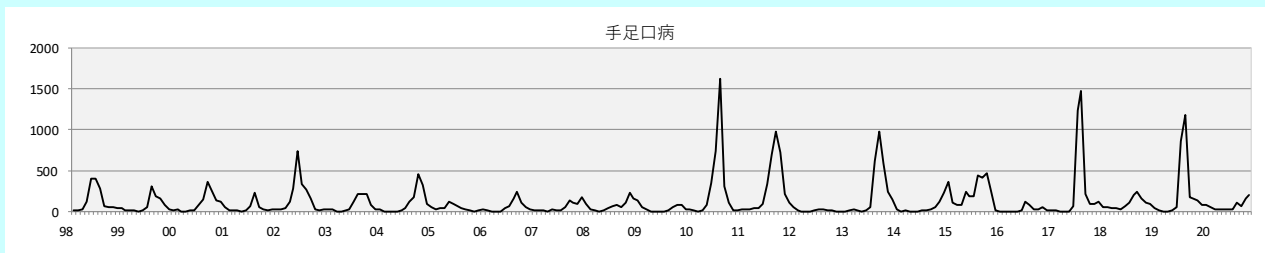
2020年

7月

定点当たりの人数

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・小児科	インフルエンザ								0.02	0.99
小児科	咽頭結膜熱		0.28	1.89	1.00	1.00	2.40	1.28	0.81	3.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.16	3.24	0.33	4.00	1.40	1.93	1.72	8.69
	感染性胃腸炎	3.50	6.00	8.00	2.67	10.00	5.40	6.29	4.18	8.57
	水痘	0.50	0.86	1.43	0.67	0.50	0.60	0.93	0.47	1.43
	手足口病	8.00	7.57	11.22	1.66	1.50	3.80	7.05	5.68	4.66
	伝染性紅斑			0.33				0.11	0.14	4.27
	突発性発疹	1.50	1.28	4.23	0.99	5.00	1.00	2.43	1.39	1.29
	ヘルパンギーナ		0.28	2.21		2.50	28.80	6.10	0.46	2.30
	流行性耳下腺炎		0.14	0.33	0.33			0.19	0.26	0.15
	RSウイルス感染症			0.11				0.04	0.04	7.11
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								0.33	1.67
STD	性器クラミジア感染症			2.00				0.67	0.33	0.33
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ			0.50			0.50	0.33		
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎									0.13
	マイコプラズマ肺炎			1.20				0.77	0.63	2.02
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)									0.13
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			3.40			6.00	2.88	3.38	2.88
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		14.00	17.57	32.99	7.65	24.50	43.40	26.35	15.17	42.53
前月		8.50	9.14	19.37	15.30	40.50	8.40			
前年同月		20.50	33.65	52.47	40.80	41.75	43.30			

### 注目される疾患別月別推移







臨床診断名	病原微生物	2020年										2020年総		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			
水痘	Human herpes virus 7		1											1
	Varicella-zoster virus		2											2
	計		3											3
突発性発疹	Human herpes virus 6		1											1
	Rhinovirus													1
	計		1											1
その他	Adenovirus 1	2												2
	Adenovirus 2									2				2
	Adenovirus NT								1					1
	Coxsackievirus A4	1												1
	Coxsackievirus A16	1	1											2
	Cytomegalovirus									1		1		2
	Echovirus 30		1											1
	Epstein-Barr virus		1											1
	Human herpes virus 6	6	6							1		1		14
	Human herpes virus 7	4	1								1	1		7
	Human metapneumovirus		2											2
	Human parvovirus B19	1												1
	Influenza virus A H1pdm09	2												2
	Influenza virus B /Victoria	1												1
	Norovirus GII NT		1											1
	Parechovirus 1									1				1
	Respiratory syncytial virus A	1	2											3
Rhinovirus	2	1	2								2	2	9	
Sapovirus genogroup unknown	1												1	
計	22	16	2						6	3	5		54	
<b>総計</b>		<b>77</b>	<b>50</b>	<b>6</b>						<b>11</b>	<b>4</b>	<b>11</b>	<b>3</b>	<b>162</b>

類型	病名	報告年																				総計				
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018		2019	2020		
2	結核								131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	56	1806			
	計								131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	56	1806			
3	コレラ	1				1							1										3			
	パラチフス	2																					2			
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2			27			
	腸チフス	1							1													1	4			
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1	207		
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	243		
	4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1				2	34	
		Q熱	1	1	2				1																5	
		オウム病			1		1																1		3	
		つつが虫病		9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	3		90	
マラリア									2					1									1	4		
レジオネラ症			2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7		7	80	
日本紅斑熱		15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	195		
日本脳炎		1	1	1					1			1	1												6	
レプトスピラ症											1		4	2	1						1				9	
E型肝炎												1												2	1	5
デング熱												1													2	9
重症熱性血小板減少症候群																3	2	1						9	5	48
計		20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	36		488	
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3		47		
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3		1				2	1	1	2	60	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	21	20	9		119	
	急性弛緩性麻痺																					1	2		3	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2				2	1	1	1	33	
	ジアルジア症		1	2	1									1	1							1			8	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1								1						1			1	1			5	
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1			2	1	21	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1	1		1	1	3		1		3	5	6	2	1		27	
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	5		80	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	4	12	16	18	14	22	11	98	
	水痘(入院例に限る)																	2	1	1	3			3	10	
	播種性クリプトコックス症																		1	3	5				9	
	髄膜炎菌性髄膜炎											1													1	
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1			2	3	35	
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	25		221	
	百日咳																									378
麻疹									5												173	172	33		5	
風しん									1	1				4	9	1									19	
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	95		1203		
指定	新型コロナウイルス感染症																							76	76	
計																									76	
新型	新型インフルエンザ										34														34	
計											34														34	
動物	鳥インフルエンザ											1													1	
計												1													1	
総計		61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	264		3851	